

全国保育士養成協議会東北ブロック  
2020年度第1回  
保育士養成教科目の教授法研究会

ケースB：「保育原理」

2020.04.25

上村 裕樹（うえむら ひろき）

# 本日の概要

1. 保育原理の授業概要について

⇒授業計画について

2. 授業方法について

⇒予習提示型学習について

⇒対話型学習について

3. Web（オンライン）型授業方法について（実機）

⇒google classroomについて

⇒zoom（Meet）について

# 授業計画について

「保育原理」：講義・2単位・後期・1年次

## □授業の設計

1. 通知基準に示される目標と教授内容に従う
2. 主体的に学習者が学ぶための力を育む
3. 他者へ働きかけ協同できる力を育む

<選択した手法>   ⇒IDに基づく授業設計  
                          ⇒予習提示型学習  
                          ⇒対話型学習

# 授業設計において注意した点

1. ガニエの9教授事象
2. IDのIDDEAモデル
3. アクティブラーニングの特徴
4. 学習体型の基本「イン⇒アウト⇒イン・・・」
5. 「対話型学習」の学習成果
6. 自分自身で学び続けるための経験
7. 他人に自ら働きかえるための経験
8. 学習に取り組んだという経験の機会

研究紀要（2019）にて報告

# 授業計画について

1. 詳細なシラバスの明示による授業  
⇒学内におけるシラバスの変更
2. フィードバックと継続的なカンファランス  
⇒コメントや課題のフィードバック  
⇒対話型学習による授業展開（予習型学習）
3. 振り返りに基づく授業内容のブラッシュアップ  
⇒授業評価と定期的な学生との懇談
4. 学生の評価の明確化と到達度の公表  
⇒課題得点や尺度結果の確認

# 聖和学園短期大学シラバス

## 「保育原理」について

1. 準備学習等履修上の注意点
2. フィードバックの方法
3. 授業計画

\* 2020年度シラバスより抜粋

## 1. 準備学習等履修上の留意点

授業計画に従い、時間外学習を必ず行うこと。学修時間の自らの確保と保障は本講義受講において、必須とする。

### <事前学習>

事前学習課題に基づく学修を必須とする。テキストや参考文献資料に目を通し、専門用語の意味を含め、各回での学修内容について、事前の基礎学習を行うこと。また、講義理解のため、子どもや子育て家庭を取り巻く現在社会の状況について社会制度や生活課題等に関するニュースに目を通しておくこと。

### <事後学習>

毎回の講義の内容について振り返りを行うとともに、講義において示される学修課題について、能動的に取り組み提出を必ず行うこと。それらを通して、講義内容の理解を深め、講義の中で得られた自らの疑問や課題について、担当教員への質問だけでなく、図書資料等を用いながら学習を深めること。

## 2. フィードバックの方法等

専門的学修成果の評価における評価内容のフィードバックの方法は、以下の通りとする。

- ▶授業の中で取り扱うコメントペーパーは、次回講義開始時にコメントへのフィードバックを行う。
  - ▶各種テストの内容に関しては、テスト終了時に問題の解答に関してのフィードバックを行う。
  - ▶ワーク課題であるグループ課題は講義内でのハーベストと返却によりフィードバックとする。
  - ▶学修内容を学習ノートに段階的にファイリングし、自らの学修の成果を視覚的に捉えることが可能となるよう取り組む。
- 評価基準の補足は、以下の通りであり、自己学習のフィードバックの際の参考とすること。
- ▶各種テストは解答正解率により評価される。
  - ▶グループワークやワーク課題は、ワークを通して得られる成果のみならず、ワーク活動への参加を含めた活動のプロセスも同様に評価される。
  - ▶事前・事後の学修に伴う提出課題は、各個人での取り組みが必要となるため、その取り組みのプロセスについても同様に評価される。
  - ▶学修ノートは、学びの成果を自らがまとめることが必要であるため、その取り組みが評価される。

授業計画			学修成果の評価
1回	授業内容	保育の今日的役割 テーマ：保育の現在の社会における役割（グループワーク）	▷グループワーク 取り組み・ワーク評価・相互評価 ▷学修内容報告書 当該週指定時まで作成の上提出 ▷確認小テスト
	学修成果	保育の今日的役割について事前学習の理解を基に、GWにおいて意見交換が出来るとともに、メンバー学生との対話を踏まえ、保育の今日における役割について、積極的に説明、報告できる。	
	予習復習の内容	予習：事前学習課題への取り組み（指定記事・シラバスの理解） 復習：講義内課題の報告（学修内容報告書の作成）・学習ノートの作成	
2回	授業内容	保育の意義（保育の理念と概念） テーマ：保育とは・保育者とは（相互インタビュー）	▷グループワーク 取り組み・ワーク評価・相互評価 ▷学修内容報告書 当該週指定時まで作成の上提出 ▷確認小テスト
	学修成果	保育の理念や概念に関して、これまでの動向を踏まえ、保育者、保育とは何かということを、相互インタビューの活動を通し、自らの言葉で具体的に説明、報告することができる。	
	予習復習の内容	予習：事前学習課題への取り組み 復習：講義内課題の報告（学修内容報告書の作成）・学習ノートの作成	
3回	授業内容	保育の意義（保育の社会的意義） テーマ：現在の社会における保育の役割と社会的意義（相互インタビュー）	▷グループワーク 取り組み・ワーク評価・相互評価 ▷学修内容報告書 当該週指定時まで作成の上提出 ▷確認小テスト
	学修成果	保育現場や保育者が置かれている立場や現状を理解し、保育の社会的役割やその社会的意義について、相互インタビューの活動を通し、自らの言葉で具体的に説明、報告することが出来る。	
	予習復習の内容	予習：事前学習課題への取り組み 復習：講義内課題の報告（学修内容報告書の作成）・学習ノートの作成	

# 授業実施方法

1. 事前学習課題の提示<インプット>
2. 授業（グループ・対話型学習）<アウトプット>
3. 事後学習課題の提出<アウトプット>
4. 事前学習課題の実施<インプット>
5. フィードバックと振り返り<インプット>
6. 授業（グループ・対話型学習）
7. 事後学習課題の提出  
・ ・ ・以降繰り返し

\*資料提示

Web（オンライン）型授業方法について

◎google classroom（教師・生徒用）  
google Gsuite で設定のドメイン使用

◎zoom（Meet）  
zoom\_\_pro版・複数アカウント  
Meet\_\_google Gsuiteの中で活用

# Web授業を行うにあたって

## ◎授業設計目標を明確にする

- ▷ 学生が学ぼうとすることが重要
- ▷ 学生が学び続けることが重要
- ▷ 学ぶ内容を明確にすることが重要

## ◎学習の方法が変わる

- ▷ 同じ価値が重要で、方法が必ず重要ではない
- ▷ 学習の仕組みとして今後も継続出来るように
- ▷ 学習の順序は必ずしも固定に考えない

## ◎平常時とイコールにするための無理はしない

# Google classroom

1. アカウソトの作成・ログイン
2. 教師として参加
3. クラスの作成
4. メンバー（受講予定者）の追加
5. 授業内容・課題の設定（評価基準の公開）
6. 授業内容・課題の公開（formを活用）
7. 提出課題の締め切り
8. フィードバック
9. 授業内容・課題の設定

\*実機提示

# zoom (Meetも同様)

1. アカウムの作成・ログイン
2. 実施人数と時間によりアカウントグレード
3. ホストとしてミーティングの計画
4. ミーティングの案内 (ID・PWは毎回)
5. ミーティングの開催
  - ▷ 事前ログイン機会を作る (接続トラブル多い)
  - ▷ 時間を無理に長くしない (集中力や意欲継続)
6. ブレイクアウトルーム、投票機能の活用
7. チャットも活用・録画機能も活用 \*画面を共有

# 授業展開の方法

「googleclassroom」 & 「zoom」

<オンデマンド>

▷資料（PDF） + 資料mp4動画 + 課題

<オンタイム>

▷資料（PDF） + zoom（ワーク用） + 課題

<オンデマンド + オンタイム>

▷資料（PDF） + zoom（解説 + ワーク用） + 課題  
+ 資料zoom動画（解説部）

\* 課題提出はgoogleformを使用（スマホのため）

ご清聴ありがとうございました。

ご意見・ご質問等ございましたら、  
以下のアドレスまでご連絡ください。

[uemura.hiroki@seiwa.ac.jp](mailto:uemura.hiroki@seiwa.ac.jp)